

佐賀市の概要

1 沿革

佐賀市は、平成17年10月1日に佐賀市、諸富町、大和町、富士町及び三瀬村が合併して誕生しました。さらに、平成19年10月1日には、川副町、東与賀町及び久保田町と合併し現在に至っています。

新しい佐賀市は、脊振山系の山ろく部の山林や清流、古代肥前の国の行政府跡「肥前国庁」、中心部の長崎街道に代表される歴史遺産や佐賀城公園、日本の近代化を先導した「幕末維新期の佐賀」の魅力を紹介している佐賀城本丸歴史館、筑後川にかかる昇開橋や佐賀平野に広がるクリークや田園風景、豊饒の海といわれる「有明海」など素晴らしい環境に恵まれています。特に観光面においては、山間部にある観光りんご園、温泉、また、沿岸部における干潟の個性的な動植物など、多様な魅力を備えるまちとなりました。

また、平成27年5月には、渡り鳥のシギ・チドリ類飛来数日本一を誇り、紅葉する塩生生物「シチメンソウ」が自生する「東よか干潟」が、ラムサール条約湿地に登録され、平成27年7月には、日本初の実用蒸気船「凌風丸」が造られた「三重津海軍所跡」が、「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」のひとつとして、世界文化遺産に登録されました。

今後も、市民や地域が、それぞれの個性や魅力を発揮しながら、市の将来像として掲げている「佐賀らしさでみんなが上を向くまち」の実現を目指していきます。

2 人口と面積（令和7年3月末現在）

- ・総人口 225,700人
- ・総世帯 104,772世帯
- ・総面積 431.81平方キロメートル

3 農業の特色

(1) 地域の特性に応じた農業の展開

ア 全国有数の農地面積

令和6年の経営耕地面積10,500ヘクタールのうち、水稻が5,372ヘクタール、大豆が2,719ヘクタール作付されており、全体の77%を占めています。また、平坦地域においては、裏作の麦生産が全国有数の産地となっており、7,214ヘクタールが作付されています。

イ 平坦地域、中山間地域、それぞれの多様な農業の推進

中山間地域から平坦地域では、農地の標高差が500m以上あり、中山間地域では夏季の冷涼な気候を活かし、ハウレンソウ、パセリ、レタス、ピーマンなどの野菜、山麓部ではマルチ栽培をはじめとしたみかん等の果樹の生産が展開されています。

また平坦地域では、米、麦、大豆、たまねぎをはじめ、アスパラガス、イチゴ、トマト、ナス、キュウリなどの施設野菜や、バラ、電照キク等の花きなどの多様な農産物の生産が展開されています。

(2) 整備された生産基盤と担い手への農地集積率の高さ

ア 整備された生産基盤

土地利用率高く、生産性の高い農業の展開が期待できます。平坦地域では、ほ場整備・かんがい排水事業、大規模共同乾燥調製貯蔵施設等の整備が実施され、生産性の高い農業を展開できる耕地や施設が整備されており、農地利用の高さは、全国トップレベルです。

イ 農地集積率

令和7年3月末時点の農地集積率は、全国平均61.5%に対して、本市は80.9%となっており、平坦地域を中心として、担い手農家（認定農業者、集落営農組織及び農事組合法人）への農地集積が進んでいます。

(3) 農業への理解醸成

ア 地産地消の推進

安全・安心な農産物の地産地消の取組として、消費者がサポーターとなり、作業ボランティアに従事するなど、市民が農にふれあうことにより、農業への理解が深まっています。

市民が市産農産物を購入できる農産物直売所は市内全域に広がっており、積極的に購入する取組も定着してきています。

イ グリーンツーリズムの進展

コロナ禍の生活スタイルの変化により、世の中では、キャンプやグランピング、農泊など、農村空間に対する期待が高まっています。

本市は、福岡都市圏と隣接する北部地域をはじめとして、市内全域で観光などと組み合わせ合わせたグリーンツーリズムが行われており、農業振興と地域の活性化につながっています。



4 農業の概要

※農林業センサス

調査年		農家数				農家人口（世帯員数）			経営耕地面積（ha）				
		総数	販売農家			総数	男	女	総面積	用途別経営耕地面積			
			専業	一兼	二兼					田	畑	樹園地	
平成17年	佐賀市	6,289	1,095	1,420	2,882	23,845	11,621	12,224	10,219	9,703	196	321	
	旧市町村	佐賀市	2,178	374	509	974	8,217	3,998	4,219	3,731	3,635	75	21
		諸富町	281	61	58	129	1,121	549	572	535	531	3	0
		大和町	875	153	163	344	2,923	1,423	1,500	969	607	79	284
		富士町	620	84	111	336	2,316	1,118	1,198	628	604	22	2
		三瀬村	241	39	28	140	857	421	436	245	226	8	11
		川副町	1,197	231	352	515	4,898	2,424	2,474	2,355	2,352	2	1
		東与賀町	502	85	119	222	1,870	894	976	933	925	6	2
		久保田町	395	68	80	222	1,643	794	849	823	823	1	-
平成22年	佐賀市	3,426	760	640	1,248	11,137	5,457	5,680	10,821	10,253	275	294	
	旧市町村	佐賀市	1,064	218	170	373	3,192	1,574	1,618	3,976	3,892	68	16
		諸富町	110	37	29	30	422	199	223	553	545	8	0
		大和町	712	129	116	216	1,949	956	993	940	625	59	257
		富士町	598	102	74	326	2,072	996	1,076	648	606	40	3
		三瀬村	233	41	20	141	787	384	403	252	229	9	15
		川副町	400	140	129	75	1,500	746	754	2,503	2,417	87	0
		東与賀町	168	46	65	37	656	327	329	977	971	5	1
		久保田町	141	37	29	47	483	240	243	810	810	-	-
平成27年	佐賀市	3,030	809	458	1,073	9,049	4,442	4,607	10,174	9,668	255	251	
	旧市町村	佐賀市	938	234	113	322	2,568	1,247	1,321	3,493	3,427	54	11
		諸富町	91	32	24	24	310	149	161	543	535	7	0
		大和町	604	122	72	196	1,508	750	758	858	580	55	223
		富士町	518	124	47	273	1,688	820	868	605	573	29	3
		三瀬村	201	41	15	115	599	296	303	236	213	9	13
		川副町	382	164	112	64	1,301	647	654	2,506	2,421	85	0
		東与賀町	179	53	53	40	629	315	314	1,001	990	10	1
		久保田町	117	36	18	34	391	190	201	769	762	6	-
令和2年	佐賀市	2,662				7,468	4,939	2,529	10,454	10,060	153	241	
	旧市町村	佐賀市	814				2,302	1,564	738	3,837	3,772	53	9
		諸富町	53				270	201	69	527	518	10	0
		大和町	546				963	568	395	856	584	51	221
		富士町	471				1,014	587	427	549	523	25	1
		三瀬村	194				457	270	187	215	198	7	10
		川副町	348				1,414	1,003	411	2,509	2,505	5	0
		東与賀町	141				533	366	167	954	953	1	-
		久保田町	95				437	321	116	836	836	-	-

(注) 農家数のうち販売農家の専兼業別分類は、2020年（令和2年）農林業センサスより廃止となっている。

(注) 一部、統計数値が公表されていないため、佐賀市の数値が旧市町村の合計値と一致しない場合がある。